

第2回 自己評価・授業評価 回答用紙 クラス() 科目()

9月から今までの授業について、感じたこと・考えたことを振り返り、正直に、かつ責任を持って記入してください。

集計は授業担当の先生が行います。

この回答内容が個人の成績に影響することはありません。

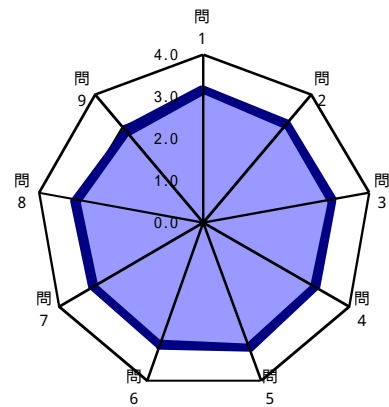
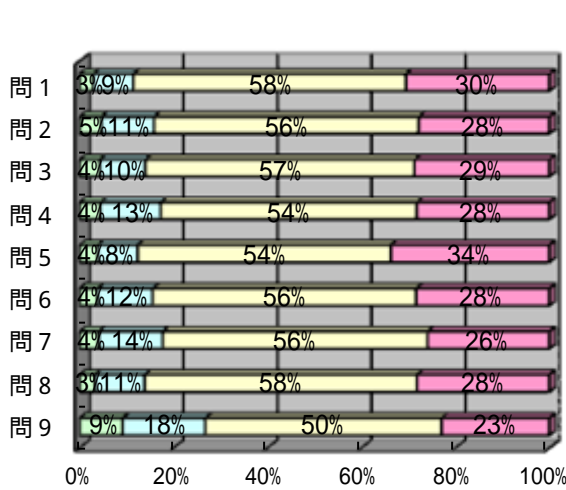
次の1～9の各項目について、当てはまる番号を で囲んでください。

大項目	中項目	小項目(具体的な評価項目)	かなり 当てはまる	ほぼ 当てはまる	あまり 当てはまらない	ほとんど 当てはまらない
授業内容	授業の準備 教材の工夫	1 教材が工夫されるなどして、取り組みやすい授業である。	4	3	2	1
	授業の充実感	2 私は、授業で学習した内容がだいたい理解できている。	4	3	2	1
	授業の進め方	3 生徒の理解度に合わせて、授業が進められている。	4	3	2	1
指導方法	生徒主体の 授業の工夫	4 授業中、生徒同士で話し合う機会や意見などを発表する機会がある。	4	3	2	1
	説明の 分かりやすさ	5 説明の仕方がいいで、分かりやすい授業である。	4	3	2	1
	生徒への接し方	6 生徒一人ひとりに目を配った、きめ細かい指導がなされている。	4	3	2	1
自分自身の 取組状況	学習への取組	7 私は、授業でわからないところがあったら、先生や友達に聞いたり、自分で調べたりするなどして分かるようとする努力をしている。	4	3	2	1
	態度・姿勢	8 私は、授業に対して意欲的に取り組んでいる。	4	3	2	1
	授業外の学習	9 私は、学校の授業時間の他に、この授業の学習をしている。	4	3	2	1

国語

実数	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9
1	39	62	58	59	52	51	54	44	122
2	113	148	127	170	112	155	180	140	232
3	767	745	758	720	712	741	745	765	664
4	403	367	379	373	445	374	342	372	303
	1322	1322	1322	1322	1321	1321	1321	1321	1321
	3.2	3.1	3.1	3.1	3.2	3.1	3.0	3.1	2.9

割合	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9
1	3%	5%	4%	4%	4%	4%	4%	3%	9%
2	9%	11%	10%	13%	8%	12%	14%	11%	18%
3	58%	56%	57%	54%	54%	56%	56%	58%	50%
4	30%	28%	29%	28%	34%	28%	26%	28%	23%



1. 授業評価結果の分析

前期に評価の低かった項目が、後期は問8以外、少しではあるが評価が上がっている。今後も指導方法の工夫を続けていきたい。

2. 授業改善

【改善点】

生徒が自主的に取り組める課題等を増やし、少しでも家庭学習時間を増やすよう動機づけを行う。

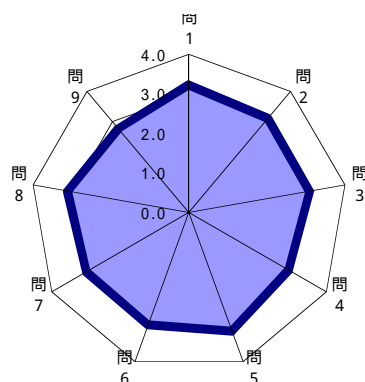
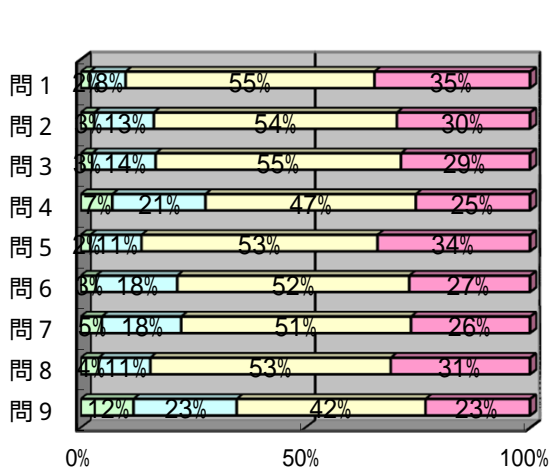
【今後の取り組みについて】

一方的な知識の伝達にならないよう、生徒が自分の考えをまとめ発表できる機会をふやし、アクティブラーニングをさらに取り入れていく。

地理歴史

実数	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9
1	21	31	26	72	22	35	48	41	120
2	81	135	144	211	116	184	180	117	234
3	564	551	556	477	535	526	521	545	428
4	353	302	293	259	346	274	270	316	237
	1019	1019	1019	1019	1019	1019	1019	1019	1019
	3.2	3.1	3.1	2.9	3.2	3.0	3.0	3.1	2.8

割合	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9
1	2%	3%	3%	7%	2%	3%	5%	4%	12%
2	8%	13%	14%	21%	11%	18%	18%	11%	23%
3	55%	54%	55%	47%	53%	52%	51%	53%	42%
4	35%	30%	29%	25%	34%	27%	26%	31%	23%



1. 授業評価結果の分析

前期に評価のやや低かった問4, 6, 9については、後期にわずかに評価が上がったが、今後もさらなる指導方法の工夫が必要である。

2. 授業改善

【改善点】

問1「取り組みやすい授業である」の評価が比較的高いので、これをもとにしてさらに「わかる授業」の展開をめざす。

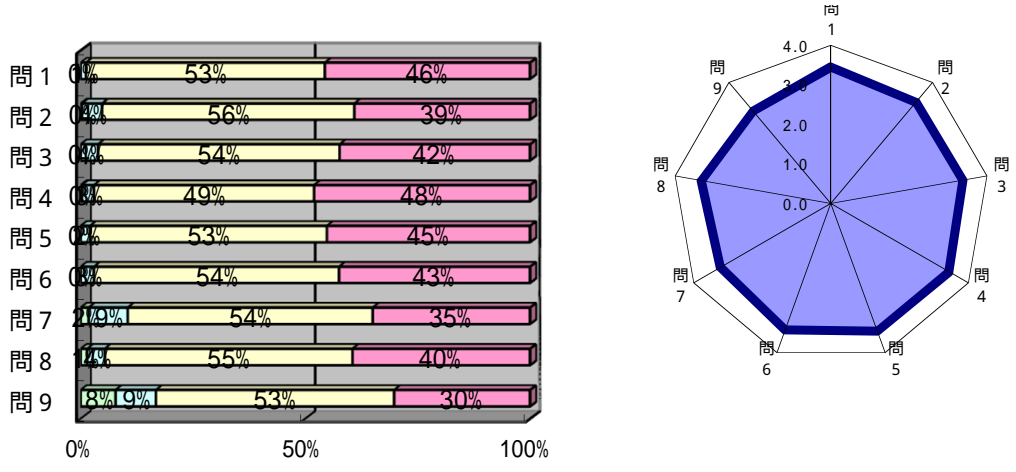
【今後の取り組みについて】

授業ごとに、教師が「ねらい」を明確化し、「まとめ(学んだこと)」を生徒が認識できるようにする。

公民

実数	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9
1	0	1	0	1	0	0	6	5	26
2	4	15	13	9	7	10	29	13	30
3	178	188	180	164	176	182	182	184	177
4	153	131	142	161	151	142	117	132	101
	335	335	335	335	334	334	334	334	334
	3.4	3.3	3.4	3.4	3.4	3.4	3.2	3.3	3.1

割合	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9
1	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	1%	8%
2	1%	4%	4%	3%	2%	3%	9%	4%	9%
3	53%	56%	54%	49%	53%	54%	54%	55%	53%
4	46%	39%	42%	48%	45%	43%	35%	40%	30%



1. 授業評価結果の分析

授業内容については、教材や授業の進め方ともに90%以上の生徒に受け入れられている。また、指導方法についてもペアワークなどの言語活動を導入した結果、生徒から高い評価を得ている。家庭学習については、学習習慣の定着が課題である。

2. 授業改善

【改善点】

時事問題など、生徒が自主的に取り組めるような課題設定を行い、生徒の興味関心を喚起しながら、家庭学習の定着を目指す。

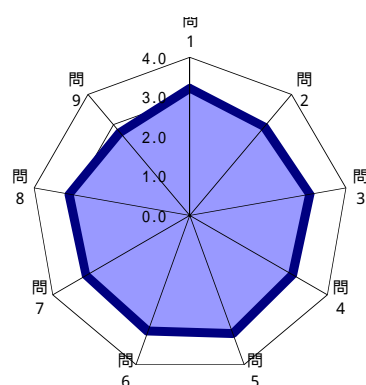
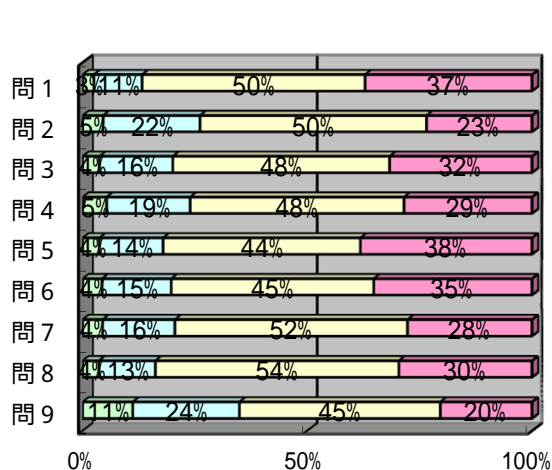
【今後の取り組みについて】

授業のねらいを明確にして、言語活動をより充実させて、生徒が主体的に学べる環境づくりを行う。

数学

実数	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9
1	22	40	33	47	33	38	39	32	98
2	94	189	143	163	124	135	141	110	208
3	435	442	423	417	385	395	454	475	392
4	326	206	278	250	335	309	243	260	179
	877	877	877	877	877	877	877	877	877
	3.2	2.9	3.1	3.0	3.2	3.1	3.0	3.1	2.7

割合	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9
1	3%	5%	4%	5%	4%	4%	4%	4%	11%
2	11%	22%	16%	19%	14%	15%	16%	13%	24%
3	50%	50%	48%	48%	44%	45%	52%	54%	45%
4	37%	23%	32%	29%	38%	35%	28%	30%	20%



1. 授業評価結果の分析

8割以上の生徒が問1「取り組みやすい」、問3「理解度に合わせて授業が進められている」、問5「説明が丁寧」、問6「きめ細かい指導がなされている」と感じている。(問1,3,5,6より)この結果は、前期より1割ほど増加している。発表の機会の少なさは比較的改善されたが、授業時間外での学習への取り組みの少なさは、前期に引き続き課題としてあげられる。

2. 授業改善

【改善点】

授業時間外の学習への取り組みを増やすために週末課題の実施に加え、テスト対策プリントを配付するなどして、自宅学習の習慣の強化を図る。

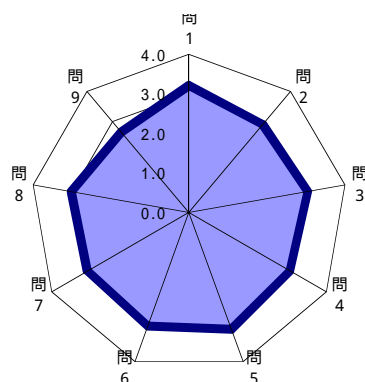
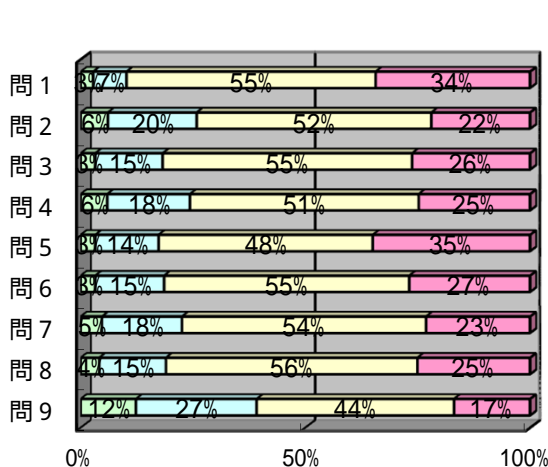
【今後の取り組みについて】

週末課題の提出の徹底を継続し、自宅学習を行う習慣を身につけさせる。テスト対策プリントを配付し、自宅学習の機会をより多く与える。

理科

実数	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9
1	19	41	22	40	22	22	32	28	83
2	50	133	101	124	95	103	120	100	181
3	374	352	374	343	321	367	366	377	296
4	232	148	177	167	236	181	156	169	114
	675	674	674	674	674	673	674	674	674
	3.2	2.9	3.0	2.9	3.1	3.1	3.0	3.0	2.7

割合	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9
1	3%	6%	3%	6%	3%	3%	5%	4%	12%
2	7%	20%	15%	18%	14%	15%	18%	15%	27%
3	55%	52%	55%	51%	48%	55%	54%	56%	44%
4	34%	22%	26%	25%	35%	27%	23%	25%	17%



1. 授業評価結果の分析

前期と共通し、授業に対しては取り組みやすさを感じているものの(問1)、それと比べ一割程度の生徒が授業の理解が伴わないと回答している(問2)。ある程度授業のわかりやすさは評価を得ているが(問5)、予習復習が不十分なためであると分析できる(問9)。

2. 授業改善

【改善点】

生徒たちはノート、およびレポートなど提出物はまめにこなしているが、試験に於いて実力を発揮できるものは限られる。この点で、さらに改善の余地がある。板書を再現するだけでなく、理解に繋がっているのかを、教員が生徒たちと、よりコミュニケーションをとり、把握できると密な指導が実現するのではないかと。

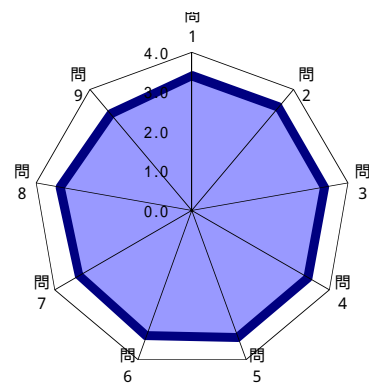
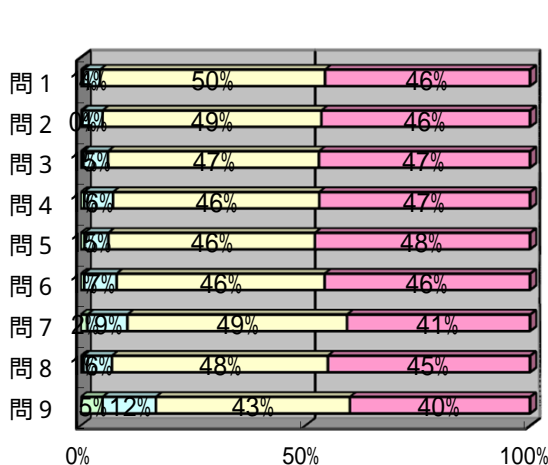
【今後の取り組みについて】

生徒一人ひとりが、「理解出来た。」という経験を通して意欲を向上させることが出来れば、効率のよい指導にも繋がる。きっかけを掴むために、コミュニケーションをとること・レベルに応じたきめ細かい指導を心がける。

保健体育

実数	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9
1	8	5	8	10	11	10	19	8	61
2	46	56	68	80	66	90	111	79	148
3	624	607	585	572	573	577	609	599	538
4	569	579	586	585	597	570	508	561	500
	1247	1247	1247	1247	1247	1247	1247	1247	1247
	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.3	3.4	3.2

割合	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9
1	1%	0%	1%	1%	1%	1%	2%	1%	5%
2	4%	4%	5%	6%	5%	7%	9%	6%	12%
3	50%	49%	47%	46%	46%	46%	49%	48%	43%
4	46%	46%	47%	47%	48%	46%	41%	45%	40%



1. 授業評価結果の分析

生徒が意欲的に授業に取り組んでいることがデータからみられる。選択性のため、生徒が能力に応じた選択をすることができ、種目ごとに活動量や話し合いの時間が確保されていることが生徒の意欲を引き出している要因である。

2. 授業改善

【改善点】

種目に魅力があれば意欲は上がる。意欲をあげるための教材を用意することや、教師の工夫が必要である。選択制で、人数制限を設けているため、希望の種目ができなかった生徒に対しても意欲があがるような授業が求められる。

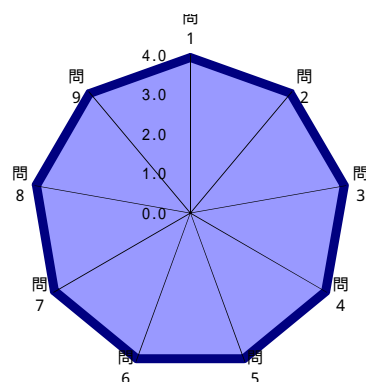
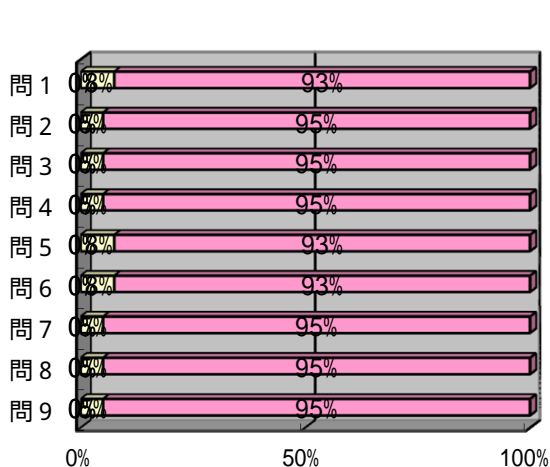
【今後の取り組みについて】

男女共修で運動の得意な生徒や運動の苦手な生徒もいる授業の中で、それぞれの能力に合わせた課題設定や、チーム戦でコミュニケーションをとらせたり、能力の違いに配慮した授業に取り組む工夫をする。生徒の意欲をさらに引き出していけるような授業を行いたい。

体育(専)

実数	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	3	2	2	2	3	3	2	2	2
4	37	38	38	38	37	37	38	38	38
	40	40	40	40	40	40	40	40	40
	3.9	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0

割合	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9
1	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
2	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
3	8%	5%	5%	5%	8%	8%	5%	5%	5%
4	93%	95%	95%	95%	93%	93%	95%	95%	95%



1. 授業評価結果の分析

体育系の進学を検討している生徒や運動好きの生徒が多いため、全体的に評価は高くなっている。また、ほとんどが団体競技であるため、生徒同士の会話やコミュニケーションの機会が増え、問4の結果にあるように言語活動がとても充実している。

2. 授業改善

【改善点】

全体的に積極的に取り組む生徒が多いため、より一層の安全面の配慮が必要である。

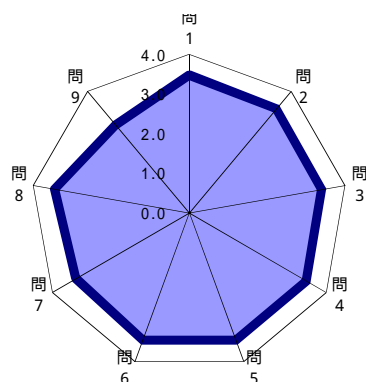
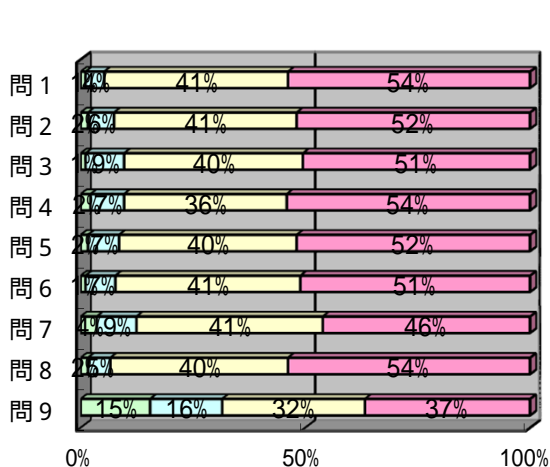
【今後の取り組みについて】

今後も授業の組み立てを工夫し、より専門性の高い授業を展開していきたい。

芸術

実数	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9
1	4	6	4	8	6	4	13	6	56
2	15	21	31	27	25	24	32	18	58
3	148	147	144	131	143	149	150	143	115
4	195	188	183	196	188	185	167	195	133
	362	362	362	362	362	362	362	362	362
	3.5	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.3	3.5	2.9

割合	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9
1	1%	2%	1%	2%	2%	1%	4%	2%	15%
2	4%	6%	9%	7%	7%	7%	9%	5%	16%
3	41%	41%	40%	36%	40%	41%	41%	40%	32%
4	54%	52%	51%	54%	52%	51%	46%	54%	37%



1. 授業評価結果の分析

全体的に好評価である。また問9に関しては前回よりも結果が良くなり、授業以外での学習をする意欲的な生徒が増えた。

2. 授業改善

【改善点】

今後も引き続き授業内容のバランスと生徒に合った進度を考え、授業に意欲的に参加できるよう工夫をしていく。

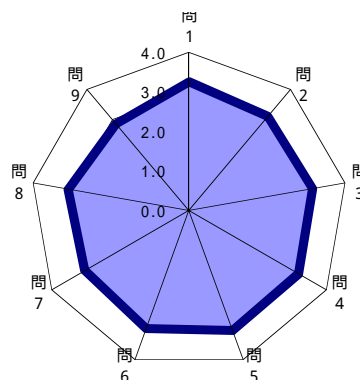
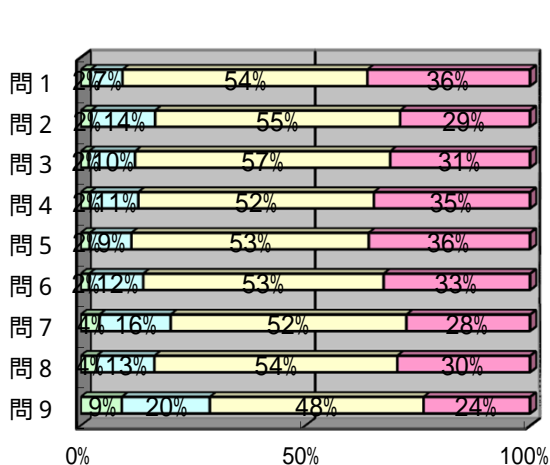
【今後の取り組みについて】

作品の完成に個人差が出てしまう教科であるが、生徒一人ひとりにしっかりとサポートをしていきレベルの向上を目指す。

英語

実数	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9
1	30	32	25	29	28	26	57	49	125
2	97	194	140	146	126	164	216	175	267
3	743	743	773	713	719	729	715	737	648
4	494	394	424	473	489	444	375	403	323
	1364	1363	1362	1361	1362	1363	1363	1364	1363
	3.2	3.1	3.2	3.2	3.2	3.2	3.0	3.1	2.9

割合	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9
1	2%	2%	2%	2%	2%	2%	4%	4%	9%
2	7%	14%	10%	11%	9%	12%	16%	13%	20%
3	54%	55%	57%	52%	53%	53%	52%	54%	48%
4	36%	29%	31%	35%	36%	33%	28%	30%	24%



1. 授業評価結果の分析

問9「授業外の学習」が低いことから、授業以外では学習に取り組んでいないことが分かる。
 問3「授業の進め方」や問6「生徒への接し方」の結果が前期よりも高いのは、個々の教員の授業改善努力の表れだと考えられる。

2. 授業改善

【改善点】

授業外でも自主的に学習に取り組めるように、生徒が興味をもてる課題を提供できるようにする。

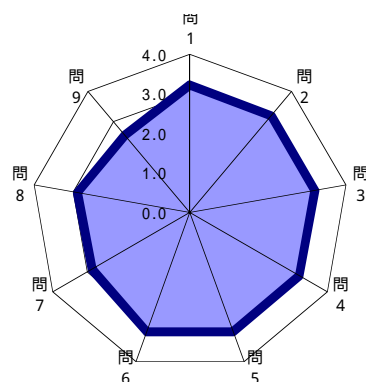
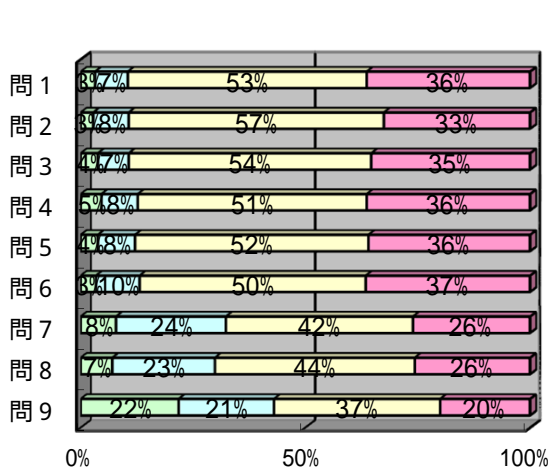
【今後の取り組みについて】

生徒が自分の課題を見つけ、学習意欲が起きるような指導の工夫が必要である。例えば、音読のための発音指導や身近な話題と関連した課題を出すことなどが挙げられる。

家庭

実数	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9
1	16	14	19	23	19	17	39	35	108
2	36	39	34	40	41	48	121	113	105
3	263	281	267	252	257	249	206	220	183
4	180	161	175	180	178	181	129	127	99
	495	495	495	495	495	495	495	495	495
	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	2.9	2.9	2.6

割合	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9
1	3%	3%	4%	5%	4%	3%	8%	7%	22%
2	7%	8%	7%	8%	8%	10%	24%	23%	21%
3	53%	57%	54%	51%	52%	50%	42%	44%	37%
4	36%	33%	35%	36%	36%	37%	26%	26%	20%



1. 授業評価結果の分析

前期と比較すると、「1」「2」の回答が増えている。特に、問7～9の「2」が増えている。問8の「2」の増加から、後期について関心意欲が低下している生徒が増えているといえる。

2. 授業改善

【改善点】

生活の主体者としての自覚を持たせるために、まず自分の生活について振り返り、課題を明確にしていくことが重要である。教科書の内容を教えることだけに追われず、教科書を活用して探求したり、理解を深めるような授業の工夫をしていく必要がある。

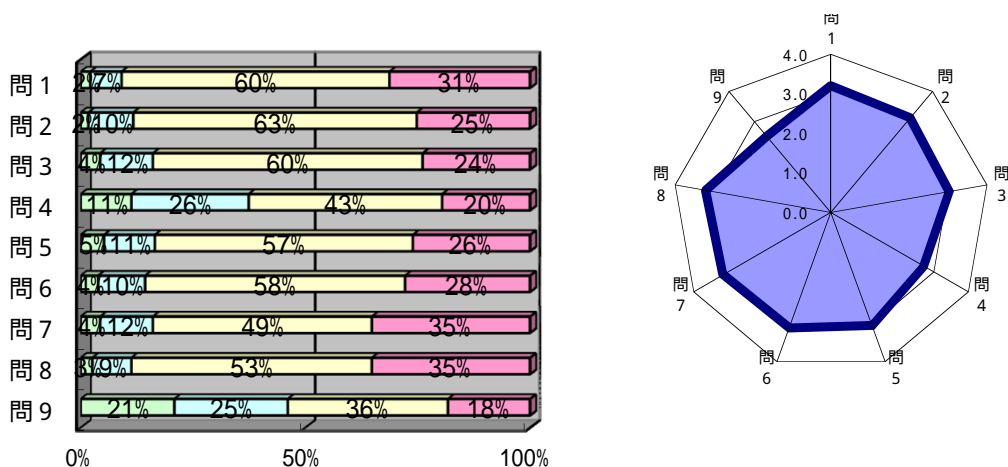
【今後の取り組みについて】

現実的な課題を想起させる設定をする。
生活体験が乏しく想像できない生徒も多いため、体験や活動の機会を増やす。

情報

実数	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9
1	5	4	10	26	12	9	10	6	48
2	16	23	27	60	26	24	27	20	58
3	137	145	138	99	132	133	112	123	82
4	72	58	55	45	60	64	81	81	42
	230	230	230	230	230	230	230	230	230
	3.2	3.1	3.0	2.7	3.0	3.1	3.1	3.2	2.5

割合	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9
1	2%	2%	4%	11%	5%	4%	4%	3%	21%
2	7%	10%	12%	26%	11%	10%	12%	9%	25%
3	60%	63%	60%	43%	57%	58%	49%	53%	36%
4	31%	25%	24%	20%	26%	28%	35%	35%	18%



1. 授業評価結果の分析

授業中の意見交換や発表の場が少ないという結果は、机上の作業を中心とする授業展開が多いことによる。今後、学習結果を生徒同士で相互に発表する機会を設けたい。
また、問9における授業時間外のコンピュータ学習は教科の性質上難しい。

2. 授業改善

【改善点】

基本的な文書作成方法及び表計算処理の基礎学習を目標とし、教材等を通して生徒同士の話し合い及び意見交換する方法を模索した。

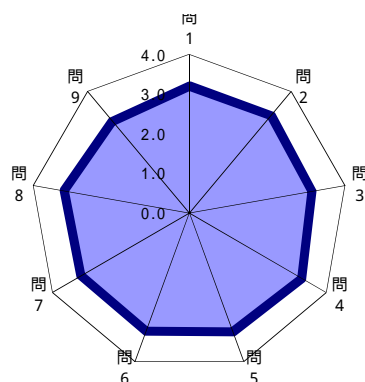
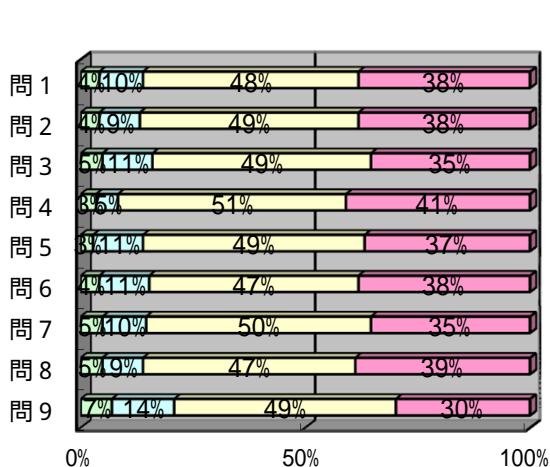
【今後の取り組みについて】

文書作成及び表計算処理の学習において、意見交換及び相互の意見発表の方法を取り入れる。さらにプログラミング学習を導入する方法を検討する。

健康福祉

実数	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9
1	6	6	7	5	4	6	7	7	10
2	14	13	16	7	16	16	14	13	20
3	69	70	70	73	71	67	72	68	71
4	55	55	51	59	53	55	51	56	43
	144	144	144	144	144	144	144	144	144
	3.2	3.2	3.1	3.3	3.2	3.2	3.2	3.2	3.0

割合	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9
1	4%	4%	5%	3%	3%	4%	5%	5%	7%
2	10%	9%	11%	5%	11%	11%	10%	9%	14%
3	48%	49%	49%	51%	49%	47%	50%	47%	49%
4	38%	38%	35%	41%	37%	38%	35%	39%	30%



1. 授業評価結果の分析

前期に比べ、問9に対する興味・関心が上がってきた。座学よりも実技・実習を伴うことに意欲を持ち取り組むが、長続きしない傾向がある。学習への主体的取組の工夫を継続する必要がある。

2. 授業改善

【改善点】

日々のニュースに関心を持ち、自分の課題として考える習慣を身につけさせる。

【今後の取り組みについて】

図書館との連携を継続し、福祉課題に留まらず医療・看護・保育など進路希望の課題を広く取り上げ継続していく。